

ヨウ素剤の配備の状況について

1 安定ヨウ素剤について

放射線による内部被ばくに対しては、安定ヨウ素剤を予防的に服用すれば、放射性ヨウ素の甲状腺への集積を防ぐことができるため、甲状腺への放射線被ばくを阻止・低減させる効果があります。

ただし、服用にあたっては、次の副作用が生じるおそれがあります。

- ・発疹等の過敏症状が現れることがある。
- ・悪心、おう吐、胃痛、下痢、口腔・のどの灼熱感、歯痛、血便等の症状が現れることがある。
- ・その他、かぜ症状、不規則性心拍、皮疹などの症状が現れることがある。

2 市町村における安定ヨウ素剤の整備状況

(H20年4月1日現在)

[県整備分]

市町村等	配備量	保管場所
柏崎市	102,000錠 (粉末) 500g	柏崎市役所、消防本部、柏崎市西山町保健福祉センター、小中養護学校 柏崎薬剤師会
刈羽村	10,000錠	刈羽村役場 ※小中学校が村役場近くにあるため。
県	56,000錠 (粉末) 500g	県柏崎地域振興局健康福祉部 県長岡地域振興局健康福祉環境部

※柏崎市、刈羽村については、県地域防災計画に基づき県が整備しています。

[市独自整備分]

長岡市 (旧小国町)	12,844錠	購入を希望した世帯及び児童生徒用に小中学校、保育園
上越市	428,000錠	上越市地域医療センター病院、上越休日急患診療所、各区の診療所、区総合事務所

※長岡市(旧小国町)と上越市については、県地域防災計画の「防災対策重点地域」外であり、ヨウ素剤の整備は、市独自の判断により行われています。